

会員のみなさま

政府はHPV ワクチン接種被害の全容解明に背を向けた状態です。私たちは、深刻な被害拡大につながるワクチン接種の積極的勧奨再開を認めるわけにはいきません。企業からの干渉で政策が決まろうとしている問題、HPV ワクチン被害の実態などを知っていただき、この危険な状況をまわりの人に伝えていただくよう、緊急声明を発表しました。

新薬学者集団運営委員会

緊急声明

2021 年 9 月 21 日

HPV ワクチン接種の積極的勧奨再開は許しません

新薬学者集団代表 藤竿伊知郎

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8

(一社)大阪ファルマプラン あおぞら薬局気付

<http://pha.jp/shin-yakugaku/>

9月17日、厚生労働大臣は「10月中の早い時期に審議を始めたい」と言明しました。「今後のワクチン供給にも悪影響を及ぼす」というMSD(株)の圧力に屈し、再開すると言うのでしょうか。

政府は、定期接種開始直後の2013年6月、800件に及ぶ重篤な副反応報告と多数の保護者から被害報告を受け、HPV ワクチンとの因果関係を否定できないので、適切な情報提供ができるまでの間、定期接種の積極的勧奨を中止しました。しかし、予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会は副反応を「心因性」の病態と結論付け、被害実態の解明に取り組みず、治療法の研究も進んでいない状況です。他方で、被害者の治療実績から、免疫学的神経障害であるとする研究成果が発表されています。

原告団は9月3日の記者会見で、被害者を放置したまま進む政府の動きに対し思いを述べました。その中から一つ紹介します。「ワクチン接種から8年がたつが未だひどい倦怠感、吐き気が今も続いています。今年の4月から何とか働いているが、症状のため、早退、欠席が多く働き続けることができるか不安です。誰一人として自分たちと同じ苦しみを味わってほしくないです。積極的勧奨を絶対してはならないと思います。」

私たちは、新たな薬害防止のため、HPV ワクチン被害者の活動を心から支援します。政府が被害の全容解明に背を向けた状態で、深刻な被害者拡大につながるワクチン接種の積極的勧奨再開を認めるわけにはいきません。

政府は、企業からの干渉を退け、ワクチン被害者の救済と、新しい副反応被害者を生まないための行動をとることを強く求めます。以上

参考資料

- ・原告団・弁護団意見書

<https://www.hpv-yakugai.net/app/download/8092237254/210903%20tamura.pdf?t=1630648430>

- ・HPV ワクチンの積極的勧奨再開を目指す議員連盟の要望

[https://44827ace-5ff4-4fe0-99e9-](https://44827ace-5ff4-4fe0-99e9-a89f34499ac7.usrfiles.com/ugd/44827a_5afaa56baa7542a59795269_43c390358.pdf)

[a89f34499ac7.usrfiles.com/ugd/44827a_5afaa56baa7542a59795269_43c390358.pdf](https://44827ace-5ff4-4fe0-99e9-a89f34499ac7.usrfiles.com/ugd/44827a_5afaa56baa7542a59795269_43c390358.pdf)

- ・MSD(株)ステートメント

https://www.msd.co.jp/static/pdf/announcement_20210901.pdf